

富山産業展示館 新展示場整備事業



一般財団法人 富山産業展示館

基本的な方針

- ビジネスユースに重点を置き、展示会と会議等の複合催事の開催に対応可能な多機能型展示場を整備。
 - 現展示場と合わせ展示面積を2倍以上に拡充し、現展示場と新展示場を一体的に活用。
- ・整備主体 一般財団法人富山産業展示館
 - ・事業費 約4.1億円（事業費負担：富山県：富山市・経済界 = 2：1）

〔これまでの経緯〕

- 平成25年5月 大規模展示施設のあり方懇談会の設置
（委員長：犬島伸一郎 富山県商工会議所連合会 前会長）
- 平成26年3月 懇談会とりまとめ報告「大規模展示施設・機能の充実のあり方について」
（富山産業展示館の展示場増築を提言）
- 平成26年8月 新展示場の基本設計に着手（設計者：榑押田建築設計事務所）
- 平成27年7月 基本設計の概要を公表。実施設計に着手（平成28年2月完了）
- 平成27年8月 敷地造成工事に着手（平成28年1月完了）
- 平成28年5月 建築工事に着手



新展示場の概要

- ・場 所：富山市友杉〔敷地面積：約41,000㎡〕
- ・構 造：鉄骨造平屋 延床面積：5,855㎡



・主な施設の概要

① 展示ホール：床面積 3,634㎡（間仕切りによる分割可）

（※搬入スペース（100㎡）を含め、約3,650㎡が使用可能）

* 既設の展示場（床面積3,363㎡）と合わせた合計面積は、約7,000㎡

【参考：利用可能規模（推定）】

展示小間数 3×2m：約250（現施設：230） 3×3m：約180（現施設160）
集会：3,300人 レセプション：正餐1,800名、立食3,000名

② ホワイエ：床面積 約1,050㎡（ホール入口部分含む）

- ・展示・商談用のブース等を設置可能（電源、LAN端子を配置）



③ 商談室（5室）、その他の諸室

- ・商談室のうち中央の3室（各約30㎡）は、60㎡又は90㎡の部屋としても利用可能
- ・展示ショーケース（北側外壁の庇下）で県内製品等、ポスター等の展示が可能

④ 駐車場：約700台（現施設：450台）



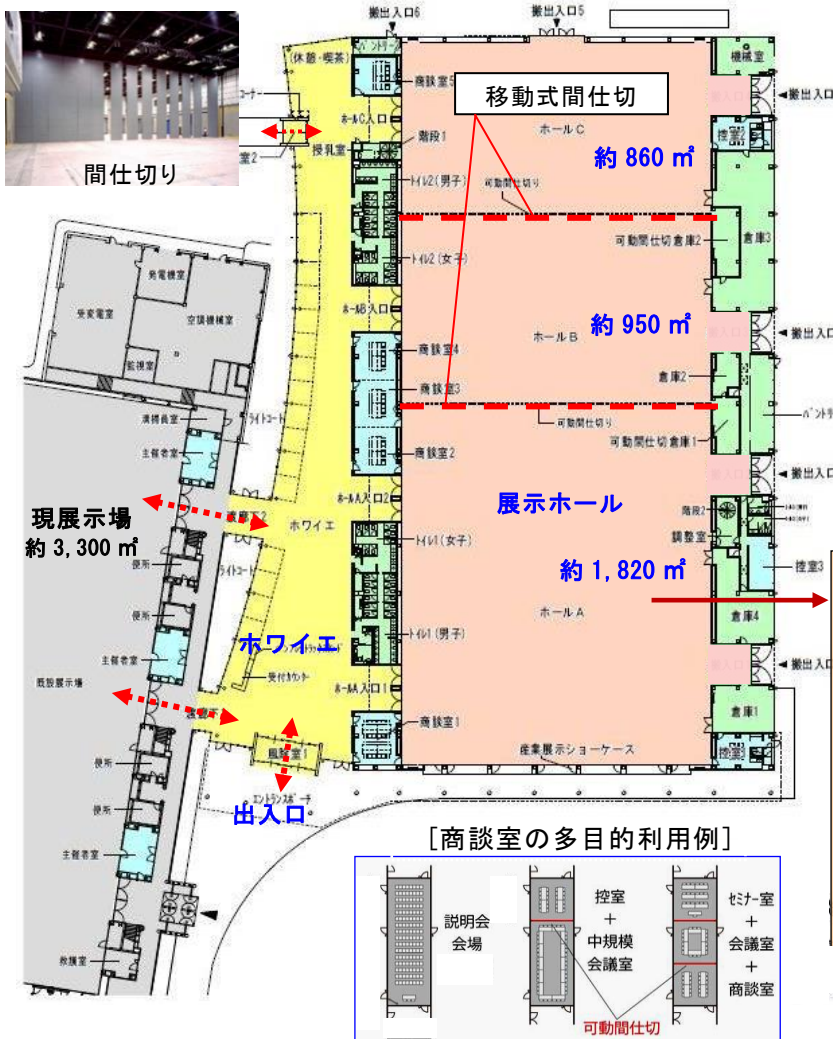
新展示場の特徴

- **新展示場と現施設が一体的に利用しやすいよう配置し、駐車台数も確保**
 - ・現テクノホールの敷地（約 24,700 m²）に加えて県消防学校跡地（約 16,300 m²）を使用し、地元の理解を得て農業用用水路の位置を変更することで敷地を効率的に活用
- **2つの展示場の間の人の流れをスムーズにし、多目的に利用できるホワイエを配置**
 - ・ホワイエに展示・販売ブース、商談ブースの設置が可能（電源等を配置）
 - ・ホワイエや商談室は、現展示場がメイン利用される場合にも別会場として使用可能
- **「移動式間仕切り」の導入により、展示ホールの分割利用が可能**
 - ・催事規模に応じた広さの設定が可能（全面、3/4面、1/2面、1/4面）
 - ・2分割又は3分割利用により、展示と会議・講演等の複合催事等の開催が可能
- **天井（高さ9m）に吸音効果のある「膜」を設置し、レセプションや会議などの催事にふさわしい、落ち着いた空間を形成**
- **床（コンクリート）に多様な展示形態に対応できるピット（電源等の配線用の溝）を配置**
 - ・床荷重 5t/m²（コンクリート床） ※重量物の展示、トラック搬入可。
 - ・設備ピット（溝、柵） 電気・通信用（40か所）給排水（24か所）

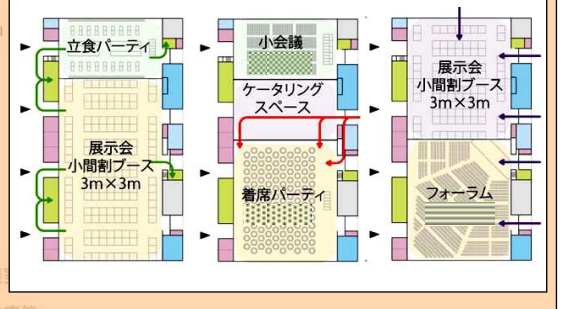
新展示場の平面計画（概略図）

* 使用可能面積（搬入スペース部分含む）

〔利用イメージ例〕



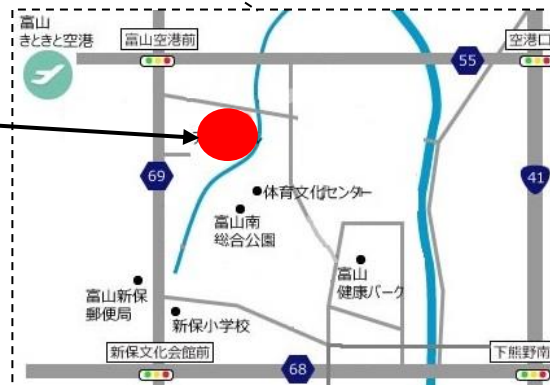
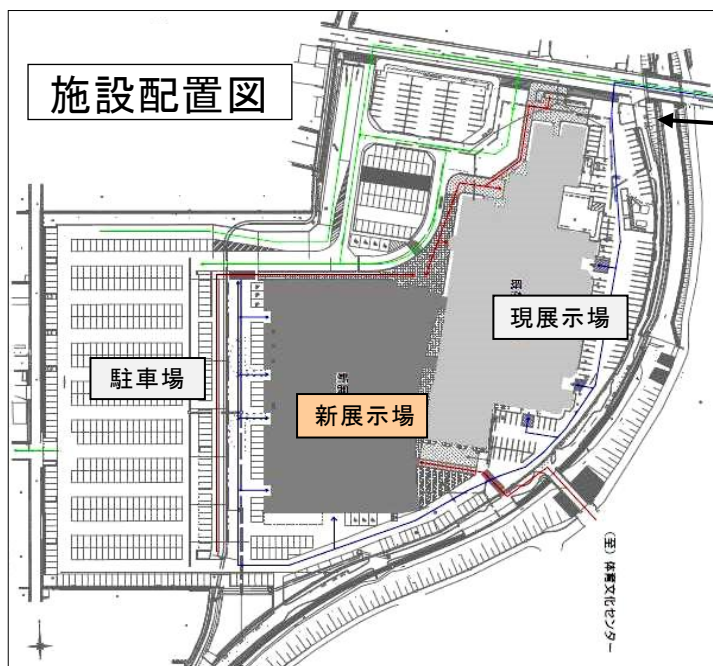
〔新展示場の分割利用のイメージ例〕



整備スケジュール（予定）

- ・ 建築工事・既設改修工事 平成28年5月～29年秋頃
 - （駐車場・排水施設等の整備工事 平成28年秋頃～29年夏頃）
 - （既設改修工事に伴う全面休館 平成29年春～夏）
- ・ 完成・供用開始 平成29年秋頃（10月以降）

【テクノホールへのアクセス】



一般財団法人 富山産業展示館 (〒939-8224 富山市友杉 1682 番地)

ホームページ <http://www.technohall.or.jp/index.html>

〔ご利用の申込み〕 総務課 電話 076-461-3111 FAX 461-3113

〔整備に係る窓口〕 新館整備・企画課 電話 076-444-3241 FAX 444-4401